

あおがわら

議会だより



第178号

令和8年2月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



夜空に灯る冬の桜
令和7年12月5日
(おおがわら桜イルミネーション点灯式)

住民投票条例案のゆくえ	②③
議案審議	④
町政への提言	⑤
委員会活動	⑯
特集 議会だよりのあり方	⑰
町民の声	㉑

12月会議

議案第64号

●南小学校改修工事

施工にあたり調査したところ設計との差異があつたことから金額を増額するもの。

- 補修の延長、面積の変更（外壁のひび割れ、欠損・モルタル浮き）
- ガラスシーリング更新工事の追加（昇降口、図書室などの窓など）
- 完成期日の変更（令和7年12月19日から令和8年2月20日に変更）



現在改修中の南小学校1号校舎

568万7000円増額

議案第65号

●国民健康保険税率の改定

町の国民健康保険事業を健全に運営するため、富城県が示す標準保険税率を参考に国民健康保険税を見直すもの。



議案等審議結果

議 案	結 果 (賛成:反対)	議員別表決結果一覧														
		今野 智志	高屋 伸一	遠藤 勇耶	佐藤 暁史	中村 淳	佐久間 克明	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖	須藤 慎	丸山 勝利
請願第1号 日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書提出に関する請願書	不採択 (6:8)	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	議

《表決の区分》 ○:賛成 ×:反対 除:除斥 議:議長なので表決に加わらず 欠:表決時に欠席(欠席・遅刻・早退・退席) 投:無記名投票(人事案件など)

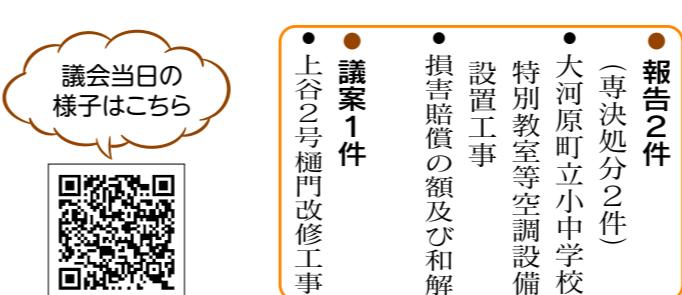
議決責任の明確化

10月会議

議案第1号

●上谷2号樋門改修工事

月14日に開催され、10月の議案が提出され可決されました。また、専決処分の報告を2件受けた。



町政への提言 Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考え方などを問い合わせるもので、今回は13人の議員が行いました。

- 今野 智志 P⑥
 - 町政全般の現状と今後の方向性について
 - 賑わい交流拠点施設について
- 万波 孝子 P⑦
 - 国民健康保険税の税率改正(引き上げ)について
 - 「こども誰でも通園制度」の導入について
- 高屋 伸一 P⑧
 - 大河原南小学校の施設状況について
- 佐藤 晓史 P⑨
 - クマ対策について
 - こども誰でも通園制度について
 - 消防演習などについて
- 高橋 芳男 P⑩
 - コンシューマー・リテラシー(消費者支援と教育)について
 - 子どもに対する性暴力防止と日本版DBSについて
 - カスタマーハラスメントの取り組み状況について
- 中村 淳 P⑪
 - 賑わい交流拠点施設アクセスについて
- 遠藤 勇耶 P⑫
 - 大河原駅東西連絡通路(跨線橋)のバリアフリー化について
 - 職員が相談しやすい職場づくりのための「呼称運用」の見直しについて
- 大沼 忠弘 P⑬
 - 昆虫の町でブランド化について
 - 時代に合った図書館、図書室の姿について
 - スポーツ行政について
- 秋山 昇 P⑭
 - 観光振興について
 - 児童生徒問題行動・不登校調査について
- 山崎 剛 P⑮
 - 横断歩道の設置について
- 須藤 慎 P⑯
 - 国の総合経済対策について
- 佐藤 巍 P⑰
 - 白石柴田線について
 - 東部集会所について
- 岡崎 隆 P⑱
 - 所信の一端と予算、事業の進捗を伺う

内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
(<https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/>)
各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。

引き上げする理由は

基金不足等から判断した



万波 孝子



2025年で全国177自治体が国保料(税)を引き上げている。この背景には2018年度から始まった「国保の都道府県化」がある。

本町も税率改正し、来年度から国保税を引き上げることになった。低所得者が多く加入しているので伺う。



4人家族で夫が年収300万円、妻が無職の場合約2万3000円の増額

何もかも値上げで先行き不安だらけ

（会社員）妻（無職）子

普段保育所などに通つてない子ども（0歳6か月から満3歳未）ことでも通園制度がスタートするが

子ども（家庭課長）11月に保育所をした。疑問点を出し合い、先行自治体に問い合わせをして不安解消に努めている。视察も予定している。

引き上げする理由は

基金不足等から判断した

空き家問題は、ここ数年状況に変化はなく慢性化している。負の遺産として扱われがちだが、視点を変えれば地域に新たな人の流れや活動を生み出す資源にもなり得る。町内では空き家だけでなく活用している店舗や事務所、店舗併用住宅などがある一方で使い手とつながらず眠っているケースも少なくない。さかさま不動産という制度があ

り空き家対策のひとつとして調査検討する意義はあると考えるがどうか。

主旨は理解できる。行政としてやれるところがあるのではないか、という視点は同感するところ。他プラは全量焼却され容器包装プラも分別の手間に對し、実際にはリサイクルされず50%以上が焼却されている

事実がある。その一方でクリーンセンターで燃やす為の灯油を年間30万リットター以上購入している事に矛盾を感じる。発電と売電も直しながら協議できないか。

校庭や公園では子供達に人気のジャングルジムなど大型遊具が軒並み撤去されてしまっている。安全性や管理者責任を優先するのは理解するが、危険も伴う一方で体を使い自分の力で挑戦し、達成感や自信を育てる大切な経験と心の成長の場でもある。興味を持った結果、スマホの使用時間が増え、睡眠時間が減り、運動能力と

空き家問題

さかさま不動産で活用を

一般質問



今野 智志



学力低下との関係性も問題視されているが見解は、その地域で「どんな人が、何をしたいのか」を先に示し、それに共感した空き家の所有者が手を上げる仕組み。従来の不動産仲介とは逆の発想の手法。

アンケートや調査結果では、変容は見られていない。遊具は危険性が高いものも撤去していく。

町長（年間維持管理費のうち施設利用料で賄われる）

ことには必須。業者任せではなく町側が強い意志を持つて取り組まなければなければならないと思^うが。

町長（負担額を減らす）

ことには必要。業者用促進策などを業者と共に実施する。



新着情報/地域情報/とりくみ/補助金助成金情報

この情報で参考を借りたい人 79人
この情報で参考をしない人 28人
この情報で参考をしたい人 9人

他自治体でも成果

賑わい交流拠点施設

草刈り、放任果樹の伐採を

必要あれば町をあげてやる



佐藤 晓史



問 町長 クマを呼べない
町長 クマに関する通報は農政課。
問 町長 クマ通報窓口など情報提供しやすい環境づくりを。
問 町長 クマを呼べない
町長 クマに関する通報は農政課。



クマ対策。市民の暮らしを守れ

問 町長 クマに関する通報は農政課。
問 町長 クマ通報窓口など情報提供しやすい環境づくりを。
問 町長 クマを呼べない
町長 クマに関する通報は農政課。



クマ対策。市民の暮らしを守れ

問 町長 クマを呼べない
町長 クマに関する通報は農政課。
問 町長 クマを呼べない
町長 クマに関する通報は農政課。

問 町長 イベント時の受け入れは、どのような対応が望ましいのかという声がある。適切な運用に向け検討を進めます。

問 南小学校の外構
（老朽化対策）について2021年に白石第一小学校で校庭の防球ネットの支柱が折れ、2名の児童に直撃し1人死亡、1人が重傷の痛ましい事故が起きていた。過去の事例を教訓として、同じ事故が起きたらぬよう安全意識を高めることができるべき責務であると考

問 教育長
（南小学校外構）について2021年に白石第一小学校で校庭の防球ネットの支柱が折れ、2名の児童に直撃し1人死亡、1人が重傷の痛ましい事故が起きていた。過去の事例を教訓として、同じ事故が起きたらぬよう安全意識を高めることができるべき責務であると考

問 雨水滞留箇所
(南小学校正門脇)について、雨水の流れが滞り水はけが悪く、児童の歩行・車両の通行に支障をきたしている。雨水滞留による道路の劣化や衛生上の懸念があるため、グレーチング整備等の計画はあるのか。また南小学校正門前に設置されている段差プレートが、雨水の影響によりさび付いているため滑りやすくなっている。



古いスロープは危険

南小環境

一般質問

学校施設の整備促進を



高屋 伸一



や経年劣化により錆やゆがみが生じているため、スロープ板の更新や設置箇所の見直しなど、改善に向けて検討する。

順次進める

開業時の渋滞対策は

あらゆる視点から模索



中村 淳



賑わい交流拠点施設は位置的にさくら大橋のたもとに位置する関係上、アクセス道路となる町道は、角田市の工業団地、村田町の工業団地を結ぶ通勤のための生活道路の一部と

問 現在の桜まつりの問題があるように思ひ以下伺う。
現在の桜まつりの駐車場の数に差はあるか伺う。



渋滞の名所にはしたくない

問 現状300台。賑わい交流拠点施設の要求水準では、130台以上。

町長 オープン時は渋滞が懸念され

町長 対岸の大河原公園や白石川河川公園の駐車場を活用。誘導員の配置、シャトルバスの運行等渋滞の緩和を実施する。

町長 エアサイクルの社会実験の予定を伺う。

町長 大河原駅を拠点とし、みやぎ県南中核病院や仙南運転免許センター及び、商業施設等へのアクセス手段

問 さくら大橋の形状は、渋滞学で言つ「サグ」と言われる、すり鉢型。高速道

地域整備施設が完成した後、様々な交通事情が、新たに発生すると思う。それに合わせて、スマートな交通のために必要な処置を警察と協議して考



高橋 芳男



コンシューマー・リテラシー

必要に応じた対策を図る

問 コンシューマー・リテラシーとは消費者が自立して安全で豊かな消費生活を営むために必要な知識である。町民からは「ネット詐欺や悪徳商法に不安」などの声がある。被害を未然に防ぐため、計画の策定は不可欠と考えるが、どうか。

町長 町では消費生活相談員を採用し、啓発事業に取り組んでいる。特に若年層に向けてコンシューマー・

リテラシーを意識したパンフレットを二十歳を祝う会等の機会に配布している。今後も必要に応じた対策を図る。

性暴力防止

2022年に「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が施行され、教育職員等による性的な行為を明確に禁止し、再発防止のための処分などが定められている

町長 性暴力は保育所や学校などで把握することが多い、性虐待は町に通告があつたもののみ把握している。虐待は町に通告があつたもののみ把握している。

町長 保育園、幼稚園、学校など、子どもと接する大人に対する虐待は町に通告があつたもののみ把握している。

町長 毎年11月に、関係機関職員を対象に児童虐待に関する研修会を実施している。

町長 要保護児童対策地域協議会において、関係機関と連携して、再発防止や早期発見に取り組む体制は整っているか。

町長 早期発見・早期対応が



町民を守るために

問 2025年4月より、東京都・北海道・群馬県で全国初となる「カスタマーハラスメント防止条例」が施行された。長時間の理不尽な対応や人格否定を受け、休職や退

いる。

町長 令和5年度に実施した職員のマニュアルとしているが、役場全体としての対応方針や要綱等の策定に向けて準備を進める。

カスタマーハラスメント

できる体制整備に努めている。

町長 施した職員研修の資料を職員のマニュアルとしているが、役場全体としての対応方針や要綱等の策定に向けて準備を進める。

職につながるケースが多い。多発しており、本町においても事例が発生している。町の条例制定などをすべきだと思う。

一般質問

観光振興



あき やま
秋 山

児童生徒調査

会議を開いており、教員、スクールカウンセラー、ケアハウスの職員の方々の話を聞き取り、様々な立場から対策をしている。

暴力行為に対する対応は。

早期発見に努めている。日頃より生徒のサインを見逃さず、迅速に適切な対応をしていく。

レンタル・シェアサイクルの導入は検討している

町内ツアーガイドを開催しては、県内を周遊する「伊達なバス旅」を実施している。

町長 賑わい交流拠点施設のオーブンメント」を設置しては、観光の目的と成りうる「モニュメント」を設置しては、どうか。

町長 今後、町内外から共感し本町と関係性を持ち、誘客力を見込まれるモデル設置を検討する。

町長 仙南地域のみならず他の自治体の特産品や物品を取り扱うことで取り扱いを拡大する考えは。

町長 大や誘客戦略を模索していく。
映画やテレビ等の撮影に積極的に協力するロケーションサービスを観光物産協会で協会でも出来ないか。

町長 「にぎわい交流施設」で賃料が発生していないことが運営持続に繋がっている。祝日については現在の経営状況、職員体制では難しいと受け止めている。



交通インフラの拡張を

設置は難しい



薄れている道路標識

歩行者の横断歩道について伺う。町内には何か所の横断歩道があるのか。また、横断歩道の標示、車の一時停止線、歩行者や自転車での通学通勤路

町長 のカラー帯が薄れているが、町内のパトロールを実施し、確認して年次計画で補修工事をしているか伺う。

は、宮城県公安委員会の管轄となっている。横断歩道の数は大河原警察署管内で約700箇所あり、横断歩道や一時停止線の薄れなどの確認は、パトロールの際に確認し、交通量が多く標示が消えているところから再標示を行っている。特に歩行帯のカラー化は、小学校周辺や大河原駅周辺の車と歩行者が混在する道路で実施している。

また、道路パトロールの際に状況を確認し、歩道があるのか。また、横断歩道の標示を行つては、新設や再標示を行つては、新設で横断歩道のみの設置を要望する場合は、宮城県公安委員会が設置の判断をしている。新規で横断歩道のみの設置を要望する場合は、公安委員会でその場所が設置基準に合致しているかを判断し、設置基準に合わせた道路改良を求められることもある。

寺の丁字路で、交通量も多いため横断歩道の設置をすることはできないか。

町長 大河原警察署に確認したところ、歩行者の数が少なく、歩行者の滞留場所の確保ができないとのことから横断歩道の設置は難しいとの回答を受けた。

歩行者 ファースト



やまざき
山崎 剛

朝夕の児童生徒の登校、下校の時間帯に危険な道路横断している子ども達、高齢者の方を見て事故がいつ起こつても不思議ではない。場所は町内字町、西の寺と東の

県に拡幅の要望を

工事は令和7年3月に完了



佐藤 とう いわお 嶽



問 上谷地区、上大谷地区より長年にわたり要望がある白石柴田線（宮城県道50号白石柴田線）の拡幅工事。拡幅について県への要望を考えているのか伺う。

町長 県道白石柴田線の拡幅について、上谷1区・上谷3区・上大谷地区の住民、【天河原土木事務所】、「本町」の3者による地域住民と連携した

生活密着型の社会資本整備」のワークショップを合計11回開催し、県道についての問題点を洗い出し、解決策、方向性を協議した。

その結果に基づき宮城県が事業主体となり、それ違い可能な待機所の設置を「9箇所」、道路の拡幅「約294メートル」の改良工事を実施し令和7年3月に完了した。本工事の完了により、それ違い可能な区間が増えたことから、県道白石柴田線の車両通行については大きな成果が得られて

15日付け東部七地区連絡協議会からの要望にあります。また、早い時期に関係行政区長との意見交換の場を設け、整備方針の検討を進めるのか。進捗状況を伺う。

町長 東部集会所の建替えについて替えて替えたところから建て替えたの優先度は高いと考へている。今後の整備方針について協議・検討を進めた。現在の進捗状況は、関係行政区長との協議に向け、公共施設等総合管理計画等に基づいて協議・検討を進めた。現在の進捗状況は、関係行政区長との協議に向け、公共施設等総合管理計画等に基づいて協議・検討を進めた。

国の経済対策

一般質問



須藤 どう しん 慎

農業機械購入に助成を

支援を検討していきたい

政府は、11月21日の臨時閣議で経済対策を決定したとの報道があった。その中のひとつに「重点支援地方交付金（自治体が自由に使える交付金）の拡充」がある。依然として続く物価高の中でも町民の生活に直結する経済対策であり、地方自治体に与える影響も多い。

問 重点支援地方交付金の配分額（国の補正予算成立がまだのため見込み額）は、町長 令和6年度の額の概ね330%以上となる見込み。

問 令和6年度は、約6000万円だつたので、今回は約2億円ということですか。

問 今回、「おおがわら商品券事業（一人5000円）」を町の一般財源を使って行つたが、今回の重点支援地方交付金を活用する考えがあるのか伺う。

町長 重点支援地方交付金を活用して農家へ支援すべき。農家への支援を検討している。

問 これとは別に、農家の方々が農業機械等を購入する際に、国・県の助成金申請が全く採択されない状況にある。仙南2市7町で助成していないのは、大河原町と蔵王町だけで、補助・助成すべきと考えるがどうか。

町長 農家にとって、農業用機械等の購入は、営農するためには必要なものであり、

問 小中学校体育館へのエアコン設置する際に、「学校施設環境改善交付金」や、「災害時に備えた社会的重要インフラへの自動的な燃料備蓄の推進事業費補助金」等を活用すべき。その中で、

「ガス式エアコン」導入は有力な選択肢のひとつとなり得る。他の方式と比較検討し、最も適した支援を検討していただきたい。

町長 「ガス式エアコン」導入は有力な選択肢のひとつとなり得る。他の方式と比較検討し、最も適した方式を採用したい。



高価な農業機械

委員会活動

身近な学びの場に、次の答えを

小中学校の理科設備と駅前図書館を調査

国の補助金や町の予算を活用し、顕微鏡などの理科設備の整備が進められていることを確認。駅前図書館は本を保管するスペースが足りず、蔵書管理が十分にできていない状況。商業施設内でテナント移動の動きがあり、施設の使い方を見直す時期に来ている。

委員の視点

理科教育については国の補助率が下がる中、学校現場の声をしっかりと受け止め、備品や消耗品の計画的な予算確保が重要である。駅前図書館は、早めに運営や施設の方向性を整理し、必要なスペースの確保を進めるとともに、町民が利用しやすく駅前にぎわいにつながる図書館を目指すべき。



千本桜の危機と、川辺の可能性

桜の複数品種育成と白石川右岸河川敷等整備について調査

桜については開花時期の異なる品種を調査育成し、町内で1か月半ほど桜を楽しめる名所づくりを目指している。その一方で早期落葉が見られ、土壌の激しい水分不足による樹勢低下が進んでいて倒木の危険性もある。このままでは3~5年のうちに枯死し歯抜け状態となるおそれ。白石川右岸では、賑わい交流拠点施設整備に向けた盛土造成工事が進み、11月時点で約4割が完了しているが、130台という駐車場台数や景観面に不安が残る。



委員の視点

桜は延命対策と欠損時の対応を早急に進めるとともに、苗木育成体制の強化や後継者の確保が必要。育てた桜を活かした新たな名所づくりを早急に検討すべき。賑わい交流拠点施設については、将来の町のイベント利用なども見据えた駐車場確保や、中州の撤去など景観改善にも配慮し、町の魅力向上につながる整備を求めた。



文教厚生 常任委員会

問 10月に議会に提出された住民投票を求める多くの署名簿が添えられた条例が議会に諮られ、僅差8対6で否決となり住民投票は実現されないことにとなつた。一連の署名に賛同した住民の動きと議員の行動について町長はどのように受け止めたのか伺う。

町長 10月会議の住民による条例制定の直接請求について

は、本町の将来を思う町民の方々の貴重な運動の結果であり真摯に受け止める。また、議員に関してはその立場から判断された行動だと思うが、議会との関係を踏まえると必ずしも望ましい形とはいえない面もあつたと考える。

問 議会の審議の結果、否決という結論に至つたが、こうした一連の運動そのもの

のを、行政に対する町民の関心や意識の表現と捉えているようであるが、大きな不満であるとの受け止めはなかつたのか。

町長 不満もあつたものと受け止めている。引き続き丁寧な情報提供を行い町民の理解につながるよう努める。

問 庁舎内での会議などで町長に助言や修正意見を述べる

事の出来る職員はいるのか。多選による弊害がないのかと町民から不安の声が寄せられているがどう捉えているか。

町長 職員はそれぞれの担当業務において適切に私に助言や修正点を報告してくれている。多選による影響は様々なご意見があることは承知しており多様な意見を丁寧に伺うことが今後も重要なことである。

市井を意識した町政を

所信の一端を問う

市井 しせい



おか さき
岡崎 隆

問

『市井』という所を表す二文字について町長はどのような認識をお持ちか伺う。

考える。
『市井』という住民が暮らす場所のことと受け止めており、今後とも『市井』の感覚や町民の実

一般質問

今後もていねいに取り組む

町長

日々の生活が営まれる地域社会、いわゆる庶民の生活の場所のことと受け止めており、今後とも『市井』の感覚や町民の実

問

『市井』という住民が暮らす場所の検討に努める。

3月議会のお知らせ

招集日 3月4日(水)・再開日 3月10日(火)

詳細は議会事務局まで
☎ 053-2800

お詫びと訂正
議会だより第177号の24ページ「町民の声」について間違いがありましたので訂正をお詫び申し上げます。
【誤】おばたえみこ
【正】おばたみえこ

委員会
副委員長
今野 遠藤 大沼 中村
佐藤 智伸 勇忠 晓淳
議会広報常任委員会
編集発行責任者
議長 丸山 勝利
(大沼 忠弘)



今回の表紙は

表紙は、冬の夜を彩る「おがわらさくライルミネーション」の一場面です。満開の桜を思わせるやさしい光が町を包み込み、多くの来場者でぎわいました。点灯式では、関係者や実行委員が一同に会し、地域への感謝と今後の発展への願いを込めて開催されました。世代を超えて楽しめるこのイルミネーションは、大河原町の魅力と人のつながりを改めて感じさせてくれる、冬の風物詩です。

編集後記



こんな町に住みたいな



大河原中学校
かんの
菅野
ふう
楓さん



大河原中学校
すずき
鈴木
そよ
想世さん

私は、魅力を発信し、賑わう町になつてほしいと考えます。大河原には有名な「一目千本桜」や菓匠三全などがあります。また、現在建設中の千本桜スポーツパークにはゴルフ場やバイクコース、カフェなど様々な施設ができます。そこで、大河原町民や他の地域から来た観光客にとつても、憩いの場として賑わっていくと思います。これらの良さや利便性を活かし、大河原を広めしていくと良いなと考えました。

特集 広報視察研修報告

大河原の議会だよりってどうあるべきなんだろう

岩手県雫石町および西和賀町を視察

全国コンクール常連の議会から工夫を学び、伝え方を見直す

議会広報常任委員会は、委員会のレベルアップと議会だより作成スキルの向上を目的に、令和7年11月10日から11日にかけて、岩手県雫石町および西和賀町で視察研修を行いました。両町とも町民の声を大切にしながら、より多くの人に「読まれる議会だより」を目指し、委員一人ひとりが強い思いと熱意を持って編集に取り組んでいることが印象的でした。



雫石町議会広報委員会の皆様



西和賀町広報委員会の皆様

具体的には定例会終了後おおむね30~40日以内の発行を目標とするスピード感のある編集体制や、2色刷りでも季節に応じて色を変える工夫、写真や図、表を効果的に配置した見やすいレイアウトなど、多くの参考となる取組を学びました。また、町民の関心が高い議案を優先して掲載することや、一般質問ページを読みやすく構成する工夫、議員が輪番で企画ページを担当するなど、議会を身近に感じてもらうための努力が随所に見られました。

もっと手に取ってもらえる議会だよりへ

議会や議員が何をしているのか、もっとわかりやすくより伝わるようにするべき
議会に対しての町民の声を積極的に聞いて、その意見を掲載したほうがいいのでは

今回の視察後、委員会内でも活発な意見が飛び交うようになりました。

議会だよりはどうあるべきか、どのような役割を果たすべきなのか。まだまだ手探りではありますか、現在議会はさまざまな改革に取りかかりつつあります。視察で得た学びを生かし、次回以降の編集作業から取り入れられる点は積極的に反映していきます。ぜひこれからに注目し、みなさまの声をお寄せ下さい。



仙台市で行われた議会広報クリニックにも参加し、大河原で発行した議会だよりの改善点を指摘してもらいました。

インタビュー

町民の声

町に望むことをお聞きしました。

プロフィール

さいとう みづき
斎藤 瑞希さん (住吉区)
大河原町出身

大河原町で子育てに奮闘中

現在、夫と子供三人の五人暮らしです。
大河原町といえば、

【白石川堤一目千本桜】

が有名ですが、残雪の蔵王連峰を背景に、川沿いに広がる桜並木は絶景で圧巻です。川面に映る桜と雪山のコントラストは、癒しとなっており大好きです。心を和ませてくれるこの桜並木を、多くの方々に見てほしいと感じております。又、樹齢百年を超える桜があると聞きましたが、大河原の桜の木を大切に守つてくださる方々に心から感謝しております。未来の世代にも見てもらえるように、この桜並木が変わらずに長く咲き誇つていてほしいです。大河原町に住んでみて思うのは、どこへ行くにも移動し

やすく便利な所と、官公庁や病院が町内にあり、暮らしやすく住み心地がよい点です。

室内で遊べる場が欲しい

育児をして、日頃から感じている事は、子どもたちが安心して過ごせる町づくりをお願いしたいと思います。

近年の気候の変動により夏の猛暑や豪雨などで屋外での活動の難しい日が増えております。天候に左右されず、安全に体を動かし遊べる環境が欠かせません。

年齢に応じた遊具の整備と広いスペースがあれば子育て世代の交流や情報交換もできて、地域での絆を深められる場が設けられることを期待しております。

地域候時にも、自由に走り回れる室内遊び場の整備と、保護者が安くて、保育園や幼稚園に

安心して子育てできる小児科の増設を

子育てするにあたり、身近に安心して受診できる小児科が必要不可欠です。既存の医療機関の小児科の診療体制が十分とは言えず、急な発熱や体調不良の際には隣接する地域の病院まで足を運ばなければならぬ現状があります。これは、大きな負担になつてきております。小児科が増えれば、子どもの健康管理がしやすく、保護者の不安も軽減され安心できます。病気の情報発信や予防接種の情報も分かりやすく届けてもらえたら助かります。

そして、子育て世代の定住につながつてほしいなと思います。併せて、保育園や幼稚園に

心して見守られる環境が整うことを心待ちにしております。

